



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東  
 コード番号 2907 URL http://www.ahjikan.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 登  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務推進本部長 (氏名) 樋口 研治 TEL 082-277-7010  
 兼 経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	26,845	△0.8	54	△93.5	258	△71.6	68	△86.3
25年3月期第3四半期	27,051	1.7	844	55.1	909	99.0	502	149.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 271百万円 (△46.8%) 25年3月期第3四半期 509百万円 (251.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	9.06	—
25年3月期第3四半期	65.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	19,158	9,618	50.2	1,263.70
25年3月期	17,314	9,453	54.6	1,242.09

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,618百万円 25年3月期 9,453百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				12.00	12.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,800	0.6	280	△66.4	400	△59.7	200	△59.0	26.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	7,700,000株	25年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	88,961株	25年3月期	88,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	7,611,039株	25年3月期3Q	7,611,061株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(四半期連結貸借対照表関係) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済の回復基調や新政権による金融緩和等の政策により、円安・株高が進み、緩やかながら景況感に改善の兆しが見られたものの、円安による輸入品価格の上昇や来春の消費税増税に伴う消費低迷への懸念など、景気の先行きは依然として不透明感を払拭しきれない状況で推移いたしました。

食品業界におきましても、景気回復に伴う個人の消費マインド改善など一部において明るい兆しも見られましたが、原油価格や原材料価格が依然として高い水準にあり、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは第九次中期経営計画の2年目をスタートさせ、変化の激しい時代に対応するため、第一に「商品の研究開発と技術開発の強化」、第二に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第三に「利益構造の改善」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開しております。

なお、セグメント別では営業部門におきましては、主要拠点での展示会開催や、各種イベントに合わせた販売活動、新規市場開拓、既存顧客への深耕開拓を積極的に行ってまいりましたが、競合他社との激しい価格競争や原材料価格の高騰などを理由とした顧客側での売り場メニューの見直しなどもあり、当社主要顧客であるスーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの需要が減少するなど厳しい状況で推移いたしました。

また、中国関係会社工場での生産品や、海外の委託生産品のコスト上昇に加え、円安による影響で仕入原価が大きく上昇し、業績を圧迫する状況が続いております。

一方、平成22年12月に新規事業の一環として立ち上げた「ごぼう茶」ならびにその関連製品の売上高につきましても、前年同四半期を上回る状況ではあるものの、当初見込みを下回る状況で推移いたしました。

他方、生産部門におきましては、省エネ活動などによる変動費の抑制を図ってまいりましたが、自社製造製品の売上高に連動した生産稼働率の伸び悩みに加え、当社主要原材料である鶏卵・干瓢・椎茸価格が需給の関係などから前年同四半期に比べ大きく上昇しており、また、原油価格や穀物価格の高止まりに起因した副材料・補助材料費も高値で推移するなど、製造原価率は前年同四半期を大きく上回る状況で推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,845百万円（前年同四半期比0.8%減少）、営業利益は54百万円（前年同四半期比93.5%減少）、経常利益は258百万円（前年同四半期比71.6%減少）となり、四半期純利益は68百万円（前年同四半期比86.3%減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,843百万円増加し19,158百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,509百万円増加し11,037百万円となりました。主な増減要因は繁忙期の売上高増加による受取手形及び売掛金の増加977百万円、販売政策に伴う商品及び製品の増加495百万円、原材料の備蓄による原材料及び貯蔵品の増加209百万円、現金及び預金の減少547百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ334百万円増加し8,120百万円となりました。主な増減要因は用地取得に伴う土地の増加180百万円、有形・無形固定資産の減価償却進行に伴う減少などです。

##### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,678百万円増加し9,540百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,338百万円増加し8,381百万円となりました。主な増減要因は繁忙期の仕入高の増加による支払手形及び買掛金の増加1,360百万円、短期借入金の増加681百万円、未払法人税等の減少306百万円、賞与引当金の減少163百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ340百万円増加し1,158百万円となりました。主な増減要因は政策的な借入実行による長期借入金の増加351百万円、リース債務の返済による減少27百万円などです。

なお、当第3四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ1,032百万円増加し3,765百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ164百万円増加し9,618百万円となりました。主な増減要因は、為替換算調整勘定の増加167百万円、四半期純利益の計上68百万円、剰余金の配当による減少106百万円などであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.4ポイント減少し50.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、概ね予想どおりに推移しておりますが、利益面につきましては、主に当社グループの主要原材料である鶏卵価格が当初見込み以上に高値で推移していることや、円安による外貨建て輸入品の仕入価格高騰などにより、当初予想を下回る状況で推移しております。

こうした状況を受け、当社グループでは、さらなるコスト低減を推し進めるとともに粗利率の改善を図る施策を展開する予定です。

今後におきましても経営を取り巻く環境は厳しさを増すことが予想されますが、業績を大きく左右する節分などのイベントを控えているため、現時点において平成25年11月1日に公表いたしました通期の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、新規設立により味堪香港有限公司を連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,255,072	707,266
受取手形及び売掛金	* 5,247,003	* 6,224,959
商品及び製品	1,966,223	2,462,105
仕掛品	3,232	3,565
原材料及び貯蔵品	760,493	970,373
繰延税金資産	160,848	69,783
その他	287,030	683,648
貸倒引当金	△151,201	△83,803
流動資産合計	9,528,703	11,037,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,587,717	1,566,028
機械装置及び運搬具（純額）	1,109,733	1,078,139
土地	2,960,387	3,140,466
リース資産（純額）	74,473	66,523
その他（純額）	209,954	310,840
有形固定資産合計	5,942,267	6,161,998
無形固定資産		
ソフトウェア	111,746	97,675
リース資産	60,982	50,201
その他	27,098	30,777
無形固定資産合計	199,827	178,654
投資その他の資産		
投資有価証券	756,335	809,430
その他	922,058	1,158,829
貸倒引当金	△34,366	△188,629
投資その他の資産合計	1,644,027	1,779,630
固定資産合計	7,786,123	8,120,283
資産合計	17,314,826	19,158,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	* 2,568,839	* 3,928,983
短期借入金	2,512,300	3,193,988
リース債務	73,563	59,043
未払法人税等	318,883	12,300
賞与引当金	272,000	109,000
役員賞与引当金	31,117	22,767
その他	1,267,140	1,055,838
流動負債合計	7,043,844	8,381,921
固定負債		
長期借入金	221,000	572,000
リース債務	135,233	107,855
繰延税金負債	13,141	26,860
退職給付引当金	71,165	59,152
役員退職慰労引当金	329,342	345,478
資産除去債務	46,020	45,337
その他	1,500	1,500
固定負債合計	817,402	1,158,184
負債合計	7,861,247	9,540,105
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	7,153,656	7,116,086
自己株式	△64,300	△64,300
株主資本合計	9,290,596	9,253,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,696	205,626
繰延ヘッジ損益	—	7,025
為替換算調整勘定	△14,713	152,400
その他の包括利益累計額合計	162,982	365,052
純資産合計	9,453,578	9,618,078
負債純資産合計	17,314,826	19,158,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	27,051,654	26,845,603
売上原価	20,280,875	20,727,564
売上総利益	6,770,778	6,118,038
販売費及び一般管理費	5,925,833	6,063,337
営業利益	844,945	54,700
営業外収益		
受取利息	1,082	719
受取配当金	9,242	12,851
通貨スワップ評価益	41,314	—
長期為替予約評価益	80,003	160,191
持分法による投資利益	3,967	—
為替差益	—	44,917
その他	15,987	12,418
営業外収益合計	151,597	231,098
営業外費用		
支払利息	24,004	21,006
為替差損	59,924	—
持分法による投資損失	—	3,459
その他	3,455	3,236
営業外費用合計	87,384	27,703
経常利益	909,158	258,096
特別利益		
投資有価証券売却益	895	—
特別利益合計	895	—
特別損失		
固定資産除却損	8,139	4,538
特別損失合計	8,139	4,538
税金等調整前四半期純利益	901,914	253,557
法人税、住民税及び事業税	349,827	95,726
法人税等調整額	49,818	88,846
法人税等合計	399,645	184,573
少数株主損益調整前四半期純利益	502,268	68,984
四半期純利益	502,268	68,984



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	502,268	68,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,126	27,930
繰延ヘッジ損益	—	7,025
為替換算調整勘定	1,038	119,967
持分法適用会社に対する持分相当額	906	47,146
その他の包括利益合計	7,071	202,070
四半期包括利益	509,340	271,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	509,340	271,054
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	27,051,654	—	27,051,654	—	27,051,654
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	542	7,839,447	7,839,989	△7,839,989	—
計	27,052,196	7,839,447	34,891,643	△7,839,989	27,051,654
セグメント利益	1,942,071	426,395	2,368,466	△1,523,521	844,945

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,523,521千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,538,716千円及びたな卸資産の調整額30,131千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	26,845,603	—	26,845,603	—	26,845,603
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,674	8,293,262	8,294,936	△8,294,936	—
計	26,847,277	8,293,262	35,140,539	△8,294,936	26,845,603
セグメント利益	1,697,707	159,876	1,857,583	△1,802,883	54,700

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,802,883千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,774,200千円及びたな卸資産の調整額4,497千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	15,503千円	8,388千円
支払手形	116,615	148,187

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	413,758千円	411,556千円